

服サセラレテ、新田左兵衛佐義興トゾ召レケル、

〔南方紀傳下〕明徳四酉癸年九月廿一日、北畠親能叙爵義滿賜滿一字改滿泰、

應永二乙亥年九月十九日、義滿給諱字於攝家以下諸臣、稱烏帽子子、

應永五年戊寅三月、師嗣公二男道忠、賜義滿諱字、改滿基、

〔康富記〕文安六年元寶徳四月十四日甲子、今夜今小路殿御元服也、於二條殿有其儀、右府二條爲

御加冠、名字之事、近來鹿苑院殿義満勝定院義持御字被申請之、今度又被申、仍令付成冬利足

政舊名義成ノ一給、字ヲ與ヘシナリ

〔新撰長祿寛正記〕義就山方ノ衆徒進出テ申ケルハ、略此義就ハ古徳本ノ實子ナリ、元服ノ時

ニモ、政長ニ下字ヲ給シカドモ、義就ハ各別ニテ、上字ヲ給シナリ、

○按ズルニ、足利義政ノ二字ヲ上下ニ分チテ、二人ニ予ベシヲ云フ、

〔中國治亂記〕子息政久子尼民部少輔ト申セシ時、去ル永正十年九月六日、大内隆ト合戰時ニ安

世城ニテ流矢ニ當テ、廿六歳ニテ早世ス、父經久大ニ歎息シテ、嫡孫晴久ヲ修理大夫ニ任ジ、初ハ

詮久ト號シケルヲ、公方義晴ヨリ一字ヲ賜ハリ、晴久ト改名シテ、則チ出雲屋形ヲ令繼、

〔相州兵亂記〕四加島合戰之事

原美濃守略中是ハ下總國千葉ノ侍ナリシガ、父原能登守友胤ト云者、小弓ノ御所合戰ノ比、總州

ヨリ牢人シテ甲州ヘ行キ、信虎武ヲ頼ミ奉公シテ、度々高名シテ討死ス、其子美濃守、父ニ勝リ

テ大剛ノ者ナレバ、信虎烏帽子子ニシテ虎胤ト名ヅク、

〔甲陽軍鑑九上〕一勝千代殿十六歳の三月五年甲府ヘ勅使たつて、甲州武田源信濃守大膳大夫

と被成させ給ふ、又公方萬松院義晴足公より、上野中務少輔御使者として、晴と云字を下さる、